

瀬見博博士記念号の発行に際して

瀬見博教授は、2019年3月31日をもって関西学院大学を定年によりご退職されることとなりました。瀬見教授は、関西学院大学商学部就任されて爾来40年の長きにわたって商学部および商学研究科の研究・教育、後進の育成ならびに行政において多大な貢献をされてこられました。

瀬見教授は、1970年4月に関西学院大学商学部に入學され、1974年3月に同学部をご卒業になりました。その後、関西学院大学大学院商学研究科修士課程、同博士課程後期課程へと進学されました。そして1979年4月に関西学院大学商学部専任講師に就任され、1983年4月に同大学助教授、1989年4月に教授とられました。商学部では、経営学基礎、マネジメントサイエンス、経営数学などの講義を担当されました。また、商学部においては学生副主任、学生主任、教務主任を歴任ののち、2008年4月から2年間は商学部長・商学研究科委員長として重責を果たされ、大学では、教務部委員、入試副部長および入試部長を務められるなど、行政面においても長期間にわたり貢献されました。さらに瀬見教授は、15年にわたり関西学院大学体育会ラグビー部の部長を務められ、合宿に帯同したり試合を観戦されるなど、非常に熱心に応援してこられました。同部はこれに応え、先生の部長在任中に51年ぶりの制覇（2008年度）を含めて3度の関西制覇を成し遂げました。

瀬見教授のご専門は経営数学およびオペレーションズ・リサーチであり、博士学位論文『目標計画法の研究』で1993年に関西学院大学より博士学位（商学）を授与されておられます。先生は、数学的・統計的モデルを利用した意思決定の科学的技法の研究に取り組み、数多くの研究論文や共訳書を出版されております。また瀬見教授は、日本経営学会、日本経営数学会、日本オペレーションズ・リサーチ学会などに所属されており、特に日本経営数学会では、常任理事、理事、監事としても学会に貢献されてこられました。

瀬見博教授は、生え抜きの教員として、時代の変化を見据えながらも商学部の伝統を守ることに意を尽くしてこられ、われわれ後輩はその姿勢からさまざまなことを学ぶことができました。先生のご退職にあたり、商学部ならびに商学研究科の教育、研究、行政に対する多大のご貢献を称え、深い感謝の意を表するために、ここに『商学論究』の記念号を刊行できることは大きな喜びです。先生のこれまでのご尽力に感謝すると同時に、先生の今後益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

最後になりましたが、この記念号の刊行に際してご寄稿いただいた先生方、ならびに編集に携わっていただいた先生方に厚く御礼を申し上げます。

2019年3月

商学部長 林 隆敏